

水島中央病院 病床機能転換の修正

この度、2022年3月17日での第2回地域医療構想調整会議以降に変更が生じたので報告致します。

【現状】

- ・水島中央病院 許可病床 155床 (病床区分：急性期103床 回復期52床)
 - ・4階 急性期一般 (急性期) 51床 うち地域包括ケア病床 11床
 - ・5階 急性期一般 (急性期) 52床
 - ・6階 回復期リハ病棟 (回復期) 52床



【2022年3月17日：第2回 地域医療調整会議で承認された事項】

- ・水島中央病院 許可病床 198床 (病床区分：急性期103床 回復期95床)
倉敷リハビリテーション病院の「慢性期機能」の**43床**を水島中央病院へ移設し、「回復期機能」として**地域包括ケア病棟**を考えている。

- ・4階 急性期一般 (急性期) 51床
- ・5階 急性期一般 (急性期) 52床
- ・6階 回復期リハ病棟 (回復期) 52床
- ・**新棟 地域包括ケア病棟 (回復期) 43床**

同法人の倉敷リハビリテーション病院から43床の病床移設を検討しています。

それに伴い、水島中央病院は155床から198床となります。

増床分の43床は、病床機能報告制度における病床区分は「回復期機能」とし、県南西部で不足している地域における回復期機能のニーズに対応致します。

【今回 病床機能転換の修正】

- ・水島中央病院 許可病床 198床 (病床区分：急性期100床 回復期98床)
倉敷リハビリテーション病院の「慢性期機能」の43床を水島中央病院へ移設し、「回復期機能」として地域包括ケア病棟を考えている。

- ・4階 急性期一般 (急性期) **50床 - 1**
- ・5階 急性期一般 (急性期) **50床 - 2**
- ・**6階 地域包括ケア病棟 (回復期) 46床 + 3**
- ・**新棟 回復期リハ病棟 (回復期) 52床**

- ① 水島中央病院の急性期病床、4階1床・5階2床の合計**3床減らして**、倉敷リハビリテーション病院の43床と合わせて、回復期機能の地域包括ケア病棟**46床**

とする

- ② 現状の6階、回復期リハビリテーション病棟（回復期機能）52床を新棟に移設する

【修正理由】

- ・ 今後高齢化社会を迎え、増えると予想される高齢者の誤嚥性肺炎、慢性心不全、脆弱性骨折等に対応できる地域包括ケア病床の増床が必要です
- ・ 自宅からの緊急入院へ対応できる「ときどき入院、ほぼ在宅」と、救急からの入院を受け入れる役割として、地域包括ケア病棟・46床を新設します
- ・ これからますます必要となる訪問診療部門を検討しており、地域包括ケア病床の需要も増えます。現状の急性期病床103床を100床に減少し、回復期機能の地域包括ケア病棟を43床から46床とするのが今回の修正点です